

# 日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 CD/DVD ユーザーズ・ガイド

HP 部品番号: BA322-90080  
2007 年 12 月  
第 1.0 版



## 著作権情報

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

日本ヒューレット・パカードは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、弊社は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

Microsoft および Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。Intel, Pentium, Intel Inside は米国 Intel 社の登録商標です。UNIX, The Open Group は、The Open Group の米国ならびに他の国における商標です。

Confidential computer software. Valid license from HP required for possession, use or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

The information contained herein is subject to change without notice. The only warranties for HP products and services are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty. HP shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein.

UNIX is a registered trademark of The Open Group. Java is a US trademark of Sun Microsystems, Inc. Microsoft, Windows, and Windows NT are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.

---

# 目次

まえがき .....	7
<b>1 インストール・キットの概要 .....</b>	<b>9</b>
1.1 OpenVMS for Integrity Servers インストール・キットの内容 .....	9
1.1.1 レイヤー製品とオペレーティング環境のアップデート・キット .....	9
1.2 OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング環境 .....	10
1.2.1 OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment DVD のディレク トリ構造 .....	10
1.3 HP Integrity サーバ対応のファームウェア .....	11
1.4 OpenVMS Freeware CD .....	11
1.5 Open Source Tools CD .....	12
1.6 製品ライセンス .....	14
<b>2 OpenVMS ドキュメント CD .....</b>	<b>15</b>
2.1 ドキュメント CD の形式 .....	15
2.2 ドキュメント CD の内容 .....	15
2.3 日本語ドキュメント CD のディレクトリ構造 .....	15
2.4 日本語ドキュメントの一覧 .....	15



---

# 表目次

1-1	OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment DVD のディレクトリ構造.....	10
1-2	Open Source Tools CD.....	13
2-1	日本語ドキュメント CD の内容.....	15



# まえがき

このドキュメントは日本語 OpenVMS Version 8.3-1H1 キットの内容およびドキュメント CD で提供しているドキュメントのアクセス方法について説明しています。

## 本書の構成

第1章「インストール・キットの概要」では、日本語 OpenVMS Version 8.3-1H1 インストール・キットの内容について説明しています。OpenVMSインストール・ガイドなどのドキュメントへのポインタを示すとともに、OpenVMS のバイナリ・メディアについても説明しています。

第2章「OpenVMS ドキュメント CD」では、日本語 OpenVMS のドキュメント CD について説明しています。この章では、CD 上のドキュメントを参照する方法についても説明しています。

## 関連資料

OpenVMS の製品およびサービスについては、以下の URL の OpenVMS の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/jp/openvms> (日本語)

<http://www.hp.com/go/openvms> (英語)

インストールの方法および本リリースにおける変更点および機能拡張については、以下のドキュメントを参照してください。

- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド [翻訳版]』
- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』
- 『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド』
- 『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 リリース・ノート』
- 『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 をご使用のお客様へ』

## 本書で使用する表記法

本書では、次の表記法を使用しています。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 x という表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキー (x) またはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が太字で書かれている場合には、そのキーを押すことを示します。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>文中のオプションの引数が省略されている。</li><li>直前の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li><li>パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li></ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。

表記法	意味
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は省略可能な選択肢です。項目をすべて選択しても、いずれか1つを選択しても、あるいは1つも選択しなくても構いません。コマンド行には、大括弧は入力しないでください。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧も含めて入力しなければなりません。
	コマンド形式の説明では、縦棒は大括弧や中括弧内の選択肢を区切っています。大括弧内の選択肢は省略可能ですが、中括弧内の選択肢は少なくとも1つ選択する必要があります。コマンド行には、縦棒は入力しないでください。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた選択肢は必須なので、いずれか1つを選択しなければなりません。コマンド行には、中括弧は入力しないでください。
太字体	太字体のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic type</i>	イタリック体は、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば /PRODUCER= <i>name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TYPE	英大文字は、コマンド、ルーチン名、ファイル名、システム特権の短縮形を示します。
Example	この字体は、コード例、コマンド例、および対話型の画面表示を示します。テキスト内では、この字体は URL、UNIX のコマンドとパス名、PC ベースのコマンドとフォルダ、および C プログラミング言語の要素も示します。
—	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。
数字	特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数、8 進数、16 進数) は、その旨を明記してあります。



# 第1章 インストール・キットの概要

この章では、日本語 OpenVMS Version 8.3-1H1 メディア・キットについて説明します。ここで説明する項目は次のとおりです。

- メディア・キットの内容
  - OpenVMS オペレーティング・システムのインストールに関する情報、リリース・ノート、および新機能に関するドキュメントの入手先
  - 「OpenVMS I64 Operating Environment」DVD のディレクトリ構造
  - CD に収められている各レイヤード製品のディレクトリ
  - 「OpenVMS Freeware」CD および関連情報の入手先
  - 「OpenVMS Open Source Tools」CD
- OpenVMS へポーティングしたさまざまなオープンソース・ソフトウェアが含まれていません。
- 製品ライセンス

## 1.1 OpenVMS for Integrity Servers インストール・キットの内容

OpenVMS for Integrity Servers のインストール・キットには次のものが含まれます。

### メディア

- 「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD
- 「HP OpenVMS Operating Environment Update」DVD
- 「HP OpenVMS Layered Products Library」DVD
- 「HP OpenVMS Layered Products Online Documentation Library」CD
- 「OpenVMS Freeware」CD (3 枚)
- 「OpenVMS Open Source Tools Version 4.1」CD
- 「HP Services Tools Version 2.2」CD
- 「OpenVMS Version V8.3 and V8.3-1H1 Documentation」CD
- 「日本語 HP OpenVMS Version 8.3-1H1 ドキュメント」CD

### ドキュメント

- 『Cover Letter for HP OpenVMS Version 8.3-1H1』
- 『日本語 HP OpenVMS Version 8.3-1H1 をご使用のお客様へ』
- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』
- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド [翻訳版]』
- 『日本語 OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド』
- 『日本語 OpenVMS V8.3-1H1 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS V8.3 リリース・ノート [翻訳版]』
- 『HP OpenVMS License Management Utility Manual』
- 『Getting Started Layered Products Library and Operating Environment Update for OpenVMS for Integrity Servers』
- 『日本語 HP OpenVMS CD/DVD ユーザーズ・ガイド』(本書)

### 1.1.1 レイヤード製品とオペレーティング環境のアップデート・キット

3ヶ月ごとにリリースされる OpenVMS for Integrity Servers の Quarterly Distribution のメディア・キットには、以下のメディアおよびドキュメントが含まれます。

- 「Operating Environment Update」DVD
- 「Online Documentation Library」CD

- 「Layered Products Library」DVD
- 『Getting Started Layered Products Library and Operating Environment Update for OpenVMS for Integrity Servers』

これらメディアは1年に4回アップデートされ、常に最新バージョンのソフトウェアが入手できるようになっています。



#### メモ:

OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers のメディア・キットには、その時点の最新バージョンのオペレーティング・システムとレイヤード製品のキットおよびドキュメントのメディアが含まれています。これらのメディアは年4回の新しいリリースのたびに最新バージョンに入れ換えられ、常にその時点での最新バージョンが提供されます。

## 1.2 OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング環境

ここでは、OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング環境が格納されている DVD 内のディレクトリについて説明します。また、OpenVMS for Integrity Servers インストール・キットに含まれているすべてのレイヤード製品の名前、およびそれらが含まれるディレクトリの一覧を示します。

OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング環境をインストールする際には、『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド [翻訳版]』および『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド』を参照してください。なお、OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング環境の問題点、変更点、制限事項については『HP OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』および『日本語 HP OpenVMS リリース・ノート』を確認してください。

### 1.2.1 OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment DVD のディレクトリ構造

表 1-1 「OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment DVD のディレクトリ構造」に、最上位の各ディレクトリ名とそこに含まれるコンポーネントの内容を示します。ドキュメント CD の詳細については、第2章「OpenVMS ドキュメント CD」を参照してください。

**表 1-1 OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment DVD のディレクトリ構造**

ディレクトリ	ファイル名/内容
[.AVAILMAN_I640301]	Availability Manager Version 3.1
[.VMSI18N_I640821]	C/C++ I18N
[.CDSA_I64023]	CDSA Version 2.3
[.CSWS_JAVA_I64030]	CSWS_JAVA Version 3.0
[.CSWS_PERL_I64021]	CSWS_PERL Version 2.1
[.CSWS_PHP_I64013]	CSWS_PHP Version 1.3
[.DCE_I64032]	DCE Version 3.2
[.DCPS_026]	DCPS Version 2.6
[.DECNET_PHASE_IV_I640831H1]	DECnet Phase IV Version 8.3-1H1
[.DECNET_PLUS_I640831H1]	DECnet-Plus Version 8.3-1H1
[.DECNET_PLUS_I640831H1]	DECnet OSAK, VT, FTAM Version 8.3-1H1
[.DISTNETBEANS_I640111]	Distributed NetBeans Version 1.1

**表 1-1 OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment  
DVD のディレクトリ構造 (続き)**

ディレクトリ	ファイル名/内容
[.DWMOTIF_I64016]	DECwindows Motif Version 1.6
[.ENTERPRISE_DIR_I64055ECO1]	Enterprise Directory Version 5.5 ECO1
[.JAVA_I6401502]	Java™ Version 1.5.0-2
[.KERBEROS_I64031]	Kerberos Version 3.1
[.MGMTAGENTS_I64034]	Management Agents Version 3.4
[.NETBEANS_I64036]	NetBeans Version 3.6
[.OVPA_I64040]	OpenView Performance Agent Version 4.0
[.PERL_I640586]	Perl Version 5.8-6
[.PPU_I64080]	Pay per use Version 8.0
[.RTR_I64051]	Reliable Transaction Router Version 5.1
[.SWB_I6401713]	Secure Web Browser Version 1.7-13
[.SWS_I6401211]	Secure Web Server Version 2.11
[.SOAP_020]	SOAP Toolkit Version 2.0
[.SSL_I64013]	SSL Version 1.3
[.TCP/IP_I64056]	TCP/IP Services Version 5.6
[.TDC_I64023]	The Performance Data Collector Version 2.3-1 (以前の The Data Collector)
[.TDC_RT_I64023]	The Performance Data Collector Runtime Version 2.3-1
[.UDDI_010A]	UDDI4J Version 1.0A
[.VMSI18N_I640831H1]	OpenVMS Version 8.3-1H1 I18N
[.WBEMCIM_I64]	WBEM Services Version 2.6-1
[.WBEM_PROVIDERS]	WBEM Providers Version 1.5-31
[.WSIT_I64012]	Web Services Integration Toolkit Version 1.2
[.XMLC_I64020]	XML C Technology Version 2.0
[.XMLJ_020]	XML Java Technology Version 2.0
[.I64083.DOCUMENTATION]	TXT 形式の製品ドキュメント

### 1.3 HP Integrity サーバ対応のファームウェア

HP Integrity サーバには複数のファームウェア・コンポーネントが含まれており (ハードウェアの種類によって異なります)。いずれのファームウェアもアップデートが必要になる場合があります。必要となるファームウェアの最小サポート・バージョンについては、『HP OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』を参照してください。Integrity サーバのファームウェアをアップデートする場合には、『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド [翻訳版]』に記載されている手順に従ってください。

### 1.4 OpenVMS Freeware CD

OpenVMS I64 Version 8.3-1H1 インストール・キットには、3 枚の OpenVMS Freeware CD が同梱されています。これらの Freeware CD には、HP からのサポートは受けられません

が、さまざまなソフトウェアとユーティリティ、および一般的なオープンソース・パッケージを OpenVMS へポーティングしたものが収められています。

各フリーウェア・パッケージの詳細については、それぞれの `FREEWARE_README.TXT` ファイルを参照してください。ファイルにアクセスするには、該当する CD を CD ドライブに挿入し、マウントされている Freeware ボリュームに応じて、次のようにコマンドを入力します。MOUNT コマンドの後の `ddcu:` には、お使いの OpenVMS システムの CD ドライブまたは DVD ドライブのデバイス名を指定します。

```
$ MOUNT ddcu:FREEWARE80_3
```

```
$ TYPE DISK$FREEWARE80_3:[FREEWARE]FREEWARE_README.TXT
```

適切な CD をマウントしたら、標準の DCL コマンド (DIRECTORY コマンドなど) を使用して、ディスクの内容およびディレクトリ構造を表示させることができます。あるいは、次のいずれかのコマンドを使用して、適切なボリュームについて Freeware メニュー・システムを起動します。

```
$ @DISK$FREEWARE80_1:[FREEWARE]FREEWARE_MENU
```

```
$ @DISK$FREEWARE80_2:[FREEWARE]FREEWARE_MENU
```

```
$ @DISK$FREEWARE80_3:[FREEWARE]FREEWARE_MENU
```

個別のパッケージのライセンスや関連情報については、各パッケージを確認してください。

これらのパッケージのコピー、Freeware の古いバージョンのコピー、今後のディストリビューションのリリース予定、および現行のディストリビューションに関する最新情報は、すべて以下の Web サイトから入手可能です。

<http://www.hp.com/go/openvms/freeware>

## 1.5 Open Source Tools CD

Open Source Tools CD は、OpenVMS エンジニアリングによって OpenVMS に移植されたオープンソース・ツールを集めたものです。これらのツールは、GNU Lesser General Public License に従うフリー・ソフトウェアとして提供されています。Free Software Foundation による GNU Lesser General Public License Version 2.1 の制限の下で、再配布や修正が可能です。

このライブラリで紹介するオープンソース・ツールに対して、HP はいかなる保証も行いません。また、製品としての適格性や、特定の目的への適合性を保証するものでもありません。詳細は Open Source Tools CD の GNV キットのディレクトリにある GNU Lesser General Public License を参照してください。

Open Source Tools CD に含まれるソフトウェアは次のとおりです。

- GNV

OpenVMS 上に UNIX® 環境を提供するオープンソースの GNU ベースのソフトウェアです。UNIX アプリケーションの開発者、システム管理者、およびユーザに UNIX スタイルの環境を提供します。この環境により、UNIX ソフトウェアの開発、および OpenVMS へのポーティングが可能になります (GNU は UNIX スタイルのオペレーティング・システムを提供するフリーソフトウェアです)。GNV は UNIX システム上で通常使用されるユーティリティを提供するために、UNIX スタイルのシェル環境 (コマンドライン・インタプリタ)、および C ランタイム・ライブラリ (CRT) の追加ライブラリを提供します。GNV では `bash` (Bourne-Again SHell の略、GNU が提供するもので、POSIX.2 準拠) シェルが使用されます。Open Source Tools CD には、OpenVMS Alpha 用と OpenVMS for Integrity Servers 用の 2 つの GNV キットが含まれています。

- IAS (Intel® Itanium® Assembler/Disassembler)

Intel 提供のオープンソース Itanium アセンブラを OpenVMS I64 へポーティングしたものです。下位レベルの Itanium アセンブラ・コードを記述するのに使用することができます。OpenVMS I64 でより使いやすくするため、いくつかの機能が追加されています。追

加された機能に関する情報およびアセンブラの使用方法についてはキットの内容を参照してください。

- Stunnel

OpenVMS システムから別のマシンへ SSL (Secure Sockets Layer) 接続を行うことにより、任意の TCP 接続の暗号化を可能にするプログラムです。Stunnel の提供する暗号化によって、SSL に対応していないアプリケーション (Telnet, IMAP, LDAP) が保護されるので、SSL 対応のためにアプリケーション自体を変更する必要がなくなります。Stunnel はイメージとソースコードの両方が提供されています。

Open Source Tools CD には次のものも含まれています。

- SSL (Secure Sockets Layer) ソースコード

OpenVMS Version 8.3-1H1 にオプションのレイヤード製品として提供されます。この CD では OpenVMS にポーティングしたソースとして SSL Version 1.3 が提供されます。

- CD-Record ソースコード

OpenVMS Version 8.3-1H1 の一部として提供されます。CD レコード・イメージの作成に使用される完全なソース・キットが、オペレーティング・システムに同梱されています。

- GnuPG (GNU Privacy Guard)

安全な通信とデータ保護のための GNU ツールです。データの暗号化や、デジタル署名の生成に利用されます。GnuPG には最新のキー管理機能が備わっています。GnuPG は、PGP に置き換わる完全なフリーソフトウェアです。特許が取得されている IDEA アルゴリズムを使用していないため、制限なしに使用できます。GnuPG は RFC 2440 (OpenPGP) に準拠したアプリケーションです。

- CDSA (Common Data Security Architecture) ソースコード

OpenVMS Version 8.3-1H1 の一部として提供されます。この CD には、CDSA for OpenVMS Version 2.3 の作成に使用される完全なソース・キットが含まれています。

- Kerberos Sources

OpenVMS Version 8.3-1H1 の一部として提供されます。この CD には、Kerberos for OpenVMS Version 2.1 の作成に使用される完全なソース・キットが含まれています。

- GTK+

グラフィカル・ユーザ・インタフェース (GUI) を生成するためのオープンソースのフリーソフトウェア・ライブラリです。

- libIDL

libIDL (IDL Compiling Library) は、CORBA IDL (Interface Definition Language) ファイルのツリーを作成するために使用されるオープンソースのフリー・ソフトウェア・ライブラリです。

- フリーウェア・ツールの tar ファイルおよび zip ファイルは [.000TOOLS] ディレクトリに置かれています。

表 1-2 「Open Source Tools CD」に、Open Source Tools CD に含まれている製品およびディレクトリを示します。

**表 1-2 Open Source Tools CD**

製品	ディレクトリ
CD-Record ソース	[.CDRECORD_SOURCE]
CDSA ソース	[.CDSA_SOURCE]
解凍 (unzip) およびその他のツール	[.000TOOLS]
GnuPG	[.GNUPG]

表 1-2 Open Source Tools CD (続き)

製品	ディレクトリ
GNV for I64	[.GMV_I64]
GTK+	[.GTK]
IAS (Intel Assembler Source)	[.IAS]
Kerberos ソース	[.KERBEROS_SOURCE]
libIDL	[.LIBIDL]
SSL ソース	[.SSL_SOURCE]
Stunnel	[.STUNNEL]

## 1.6 製品ライセンス

OpenVMS I64 メディア に収められているソフトウェアは、HP に帰属します。ソフトウェアの使用は、各製品について HP が発行した有効なソフトウェア・ライセンスを所有している場合に限り認められます。

ソフトウェア製品にアクセスするには、LMF (License Management Facility) の PAK (Product Authorization Key) が必要です。この CD からソフトウェアをインストールするには、ご使用のシステムにあらかじめ PAK を登録し、ロードしておく必要があります。PAK の取得については、HP のサポート担当者または販売代理店までお問い合わせください。

System Integrated Products (SIP) は、利用する各ソフトウェアのライセンスを購入した場合に限り、OpenVMS ソフトウェアの CD (複数枚) に同梱されています。なお、関連するドキュメントについては別途ご購入いただけます。

SIP の製品は次のとおりです。

- DECram
- DECnet Phase IV
- OpenVMS Cluster ソフトウェア
- OpenVMS Galaxy
- RMS Journaling
- Volume Shadowing for OpenVMS

OpenVMS for Integrity Servers オペレーティング・システムおよび特定のレイヤード製品は、FOE (基本オペレーティング環境)、EOE (エンタープライズ・オペレーティング環境)、MCOE (ミッションクリティカル・オペレーティング環境) の 3 種類のオペレーティング環境として提供され、OpenVMS I64 のライセンス体系は OpenVMS Alpha のライセンスとは異なります。EOE には、FOE のすべての内容に加え、いくつかのレイヤード製品が追加されています。MCOE には、EOE のすべての内容に加え、OpenVMS Cluster と RTR が含まれています。

必要なレイヤード製品に応じて、FOE のライセンスと追加のレイヤード製品のライセンスを購入するか、あるいは EOE や MCOE を購入するかを選択することができます。オペレーティング環境とその内容の詳細については、下記の URL にある『HP Operating Environments for OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers SPD』(82.34.xx) を参照してください。

<http://h18000.www1.hp.com/info/XAV12Z/XAV12ZPF.PDF>

## 第2章 OpenVMS ドキュメント CD

ここでは、OpenVMS のドキュメント CD の形式、内容、構造、およびファイルのアクセス方法について説明します。

### 2.1 ドキュメント CD の形式

OpenVMS のドキュメントは、英語版および日本語版がそれぞれ 1 枚の CD で提供されます。CD の形式は ISO 9660 形式です。

また、これとは別に年4回アップデートされるレイヤード製品のオンライン・ドキュメント CD 「HP OpenVMS Layered Products Online Documentation Library」も提供されています。

### 2.2 ドキュメント CD の内容

OpenVMS のドキュメント CD には、次のファイル形式でドキュメントが含まれています。

- HTML
- PDF

### 2.3 日本語ドキュメント CD のディレクトリ構造

日本語ドキュメント CD のディレクトリ構造は以下のとおりです。日本語ドキュメントの一覧については、表 2-1 「日本語ドキュメント CD の内容」を参照してください。

- [HTML]  
HTML 形式の OpenVMS Version 8.3-1H1 のドキュメント・セット一式と、関連製品のドキュメント・セットが格納されているサブディレクトリが含まれます。
- [PDF]  
OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows Motif, Advanced Server for OpenVMS, DECprint Supervisor, HP TCP/IP Services for OpenVMS などのレイヤード・プロダクトのドキュメントが PDF 形式で含まれます。

### 2.4 日本語ドキュメントの一覧

表 2-1 「日本語ドキュメント CD の内容」に日本語ドキュメント CD に含まれているドキュメントの一覧を示します。

表 2-1 日本語ドキュメント CD の内容

OpenVMS オペレーティング・システム
『HP OpenVMS V8.3-1H1 CD / DVD ユーザーズ・ガイド』
『OpenVMS V8.3-1H1 ソフトウェア仕様書』
『日本語 OpenVMS V8.3-1H1 インストレーション・ガイド』
『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 リリース・ノート』
『OpenVMS V8.3-1H1 インストレーション・ガイド [翻訳版]』
『OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』
『OpenVMS V8.3 リリース・ノート [翻訳版]』
『OpenVMS V8.3 新機能説明書』
『日本語 HP OpenVMS 概説書』
『はじめよう！ 日本語 OpenVMS - 日本語 OpenVMS 入門書 -』
『C 国際化ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』



**表 2-1 日本語ドキュメント CD の内容 (続き)**

<b>OpenVMS オペレーティング・システム</b>
『DEC XTPU リファレンス・マニュアル』
『日本語 HP OpenVMS フォント管理ユーティリティ 利用者の手引き』
『日本語 HP OpenVMS IMLIB/OpenVMS ライブラリ・リファレンス・マニュアル』
『日本語 EVE かな漢字変換入門』
『日本語 EVE リファレンス・マニュアル』
『日本語 EVE ユーザーズ・ガイド』
『日本語 HP OpenVMS 日本語画面管理ライブラリ 利用者の手引き』
『日本語 HP OpenVMS 日本語ライブラリ 利用者の手引き』
『日本語 HP OpenVMS 日本語入力プロセス 利用者の手引き』 (Alpha のみ)
『日本語 HP OpenVMS 日本語ユーティリティ 利用者の手引き』
『日本語 HP OpenVMS ユーザ・キー定義 利用者の手引き』
『OpenVMS Alpha パーティショニングおよび Galaxy ガイド』
『OpenVMS Cluster 構成ガイド』
『OpenVMS Cluster システム』
『OpenVMS DCL デイクショナリ (上/下巻)』
『OpenVMS デバッグ説明書』
『OpenVMS デバッグ・コマンド・デイクショナリ』
『OpenVMS システム管理者マニュアル (上/下巻)』
『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル (上/下巻)』
『OpenVMS HP C ランタイム・ライブラリ・リファレンス・マニュアル (上/下巻)』
『OpenVMS ユーザーズ・マニュアル』
『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』
『OpenVMS Alpha から OpenVMS I64 へのアプリケーション・ポーティング・ガイド』
『Volume Shadowing for OpenVMS 説明書』
『Volume Shadowing for OpenVMS におけるホストベース・ミニマージ』
<b>OpenVMS アーカイブ・ドキュメント</b>
『OpenVMS VAX から OpenVMS Alpha へのアプリケーションの移行』
『OpenVMS Extended File Specifications の手引き』
『OpenVMS コネクティビティ開発者ガイド - COM for OpenVMS, OpenVMS Registry, OpenVMS Events について -』
『OpenVMS Alpha 64 ビット・アドレッシングおよび VLM 機能説明書』
『OpenVMS AXP オペレーティング・システムへの移行：再コンパイルと再リンク』
『OpenVMS AXP オペレーティング・システムへの移行：システム移行の手引』
<b>TCP/IP Services for OpenVMS</b>
『TCP/IP Services インストレーション / コンフィギュレーション・ガイド』



## 日本語 DECwindows Motif for OpenVMS

---

- 『日本語 DECwindows Motif インストール・ガイド』
- 『日本語 DECwindows Motif リリース・ノート』
- 『HP DECwindows Motif 管理ガイド』
- 『HP DECwindows Motif New Desktop 使用概説書』
- 『日本語 DECwindows Motif 操作ガイド』
- 『日本語 DECwindows Motif 日本語機能説明書』
- 『日本語 DECwindows Motif 環境設定の手引』
- 『日本語 DECwindows Motif アプリケーション開発の手引』
- 『日本語 DECwindows Motif 拡張機能説明書』
- 『日本語 DECwindows Motif DEC 入力サーバ・ライブラリ』
- 『OSF/Motif スタイル・ガイド (DECwindows 追補版)』

---

## 日本語 Advanced Server for OpenVMS

---

- 『日本語 Advanced Server ソフトウェア仕様書』
- 『日本語 Advanced Server インストールおよび構成ガイド』
- 『日本語 Advanced Server リリース・ノート』

---

## 日本語 DECprint Supervisor

---

- 『日本語 DECprint Supervisor インストール・ガイド』
  - 『日本語 DECprint Supervisor リリース・ノート』
  - 『日本語 DECprint Supervisor ユーザーズ・ガイド』
  - 『日本語 DECprint Supervisor システム・マネージャーズ・ガイド』
  - 『日本語トランスレータ・リファレンス・マニュアル』
-



Printed in the US